

戦争の中の子どもたち

—第36回岡山戦災の記録と写真展—

2013年6月14日(金)~7月7日(日)

EXHIBITION
ROOM OF
THE
OKAYAMA
AIR RAIDS
岡山空襲 展示室



主催 岡山市 共催 岡山市教育委員会

岡山空襲後の焼跡で撮影された岡山師範学校女子部附属国民学校の卒業写真
1946年(昭和21)3月 (現岡山市北区蕃山町) 個人蔵

会場 岡山シティミュージアム 4階展示室 **入場無料**
開館時間 午前10時~午後6時(入館は午後5時30分まで) 休館日 月曜日

記念講演会 「空襲の写真記録—東方社と国防写真隊の資料について—」
日時 6月15日(土) 午後1時~3時
場所 岡山シティミュージアム 4階 講義室 定員 80名
講師 東京大空襲・戦災資料センター主任研究員 山辺 昌彦さん

第5回 岡山市平和コンサート ~愛と平和の歌~ 入場無料
日時 6月15日(土) 午後4時~5時30分
会場 岡山シティミュージアム 2階 ひかりの広場
出演 福田 浩子さん(ソプラノ)、大谷 麻美さん(ピアノ)
桃太郎少年合唱団

JR岡山駅から東西連絡通路で直結
岡山市北区駅元町15-1 TEL 086-898-3000

岡山シティミュージアム



戦争の中の子どもたち

—第36回岡山戦災の記録と写真展—

EXHIBITION
ROOM OF
THE
OKAYAMA
AIR RAIDS
岡山空襲展示室

激しくなる戦争のなか、岡山の子どもたちにも戦争への協力が求められました。現在の小学校にあたる戦時中の国民学校の生徒たちの図画には、そうした空気が反映されています。また全ての物資が軍需優先となるなか、学用品や衣類などは粗悪な代用品が増え、授業にも将来兵士となるための軍事教練や、本土決戦に備えた竹槍訓練などが導入されていきます。

岡山市は例年、岡山空襲に関する「岡山戦災の記録と写真展」を開催し、今年で36回目になります。岡山空襲の記憶を忘れることなく、未来へうけつぐための常設展示施設として岡山空襲 展示室が開室して初めてむかえる今年、戦時下の岡山の子どもたちに焦点をあてた展覧会を開催いたします。

岡山空襲について

1944年から45年にかけて、日本全土の市街地を対象とした大規模な空襲が米軍によって行われました。岡山市は1945年(昭和20)6月29日、市街地中心を目標とした大規模な空襲を受け、当時の市街地の約63%が焦土となり、少なくとも1700人をこえる死者が出ました*。

*最近の研究では2000人をこえるという説もあります。



「大日本海洋少年団」の帽子



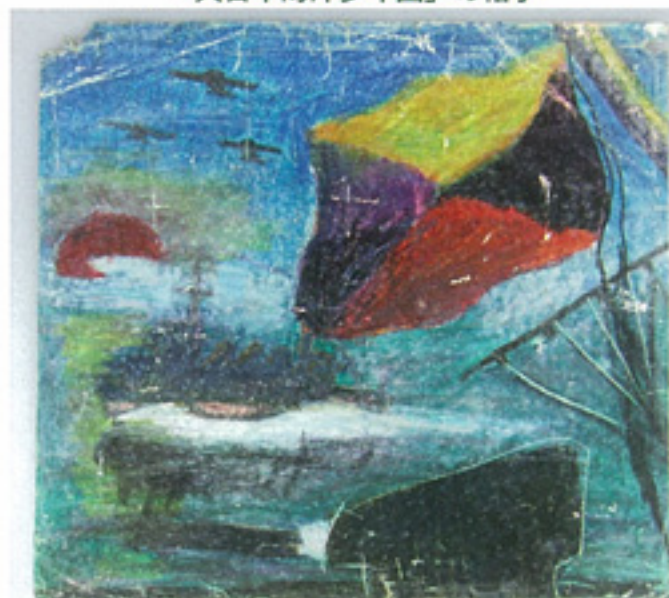
鹿田幼稚園の帽子



幡多国民学校児童の服



布製ランドセル



「Z旗」川村 範夫



「元氣にきたへよ」大高 喜八郎



「戦場」牧野 盾彦
いずれも1942年(昭和17)ごろ、当時の南方国民学校3年生の作品

記念講演会「空襲の写真記録 - 東方社と国防写真隊の資料について -」

講師 東京大空襲・戦災資料センター主任研究員 山辺 昌彦 さん

戦時中、空襲の被害を記録することは一般には禁じられていました。こうしたなか、国が認めた写真家たちは公然と被害状況を撮影しましたが、敗戦の混乱のなか、これらの写真はほとんど伝えられていません。

このため、2012年に東方社や日本写真公社(国防写真隊)に所属する、国家公認の写真家たちが撮影した膨大な写真類が再発見されたことは、大きなニュースになりました。

この写真の中には東京空襲、アメリカ軍による日本占領下の中国への空襲、墜落したB29の様子などの写真が多数含まれていました。また、防空訓練、学童集団疎開、国民学校の授業風景や体操をする子どもたちの写真もあります。これらの写真を再発見し、整理・研究されたお一人である山辺さんに写真をご紹介いただきながら、当時の写真家たちがどのような意図で撮影していたのか、お話ししていただきます。

第5回岡山市平和コンサート

福田 浩子さん(ソプラノ)、大谷 麻美さん(ピアノ)、桃太郎少年合唱団

現代の私たちには何ができるのでしょうか。岡山空襲のことを決して忘れることなく、また岡山空襲を知らない世代に平和の尊さが伝わるように。今年も平和への祈りを込めたコンサートを開催します。